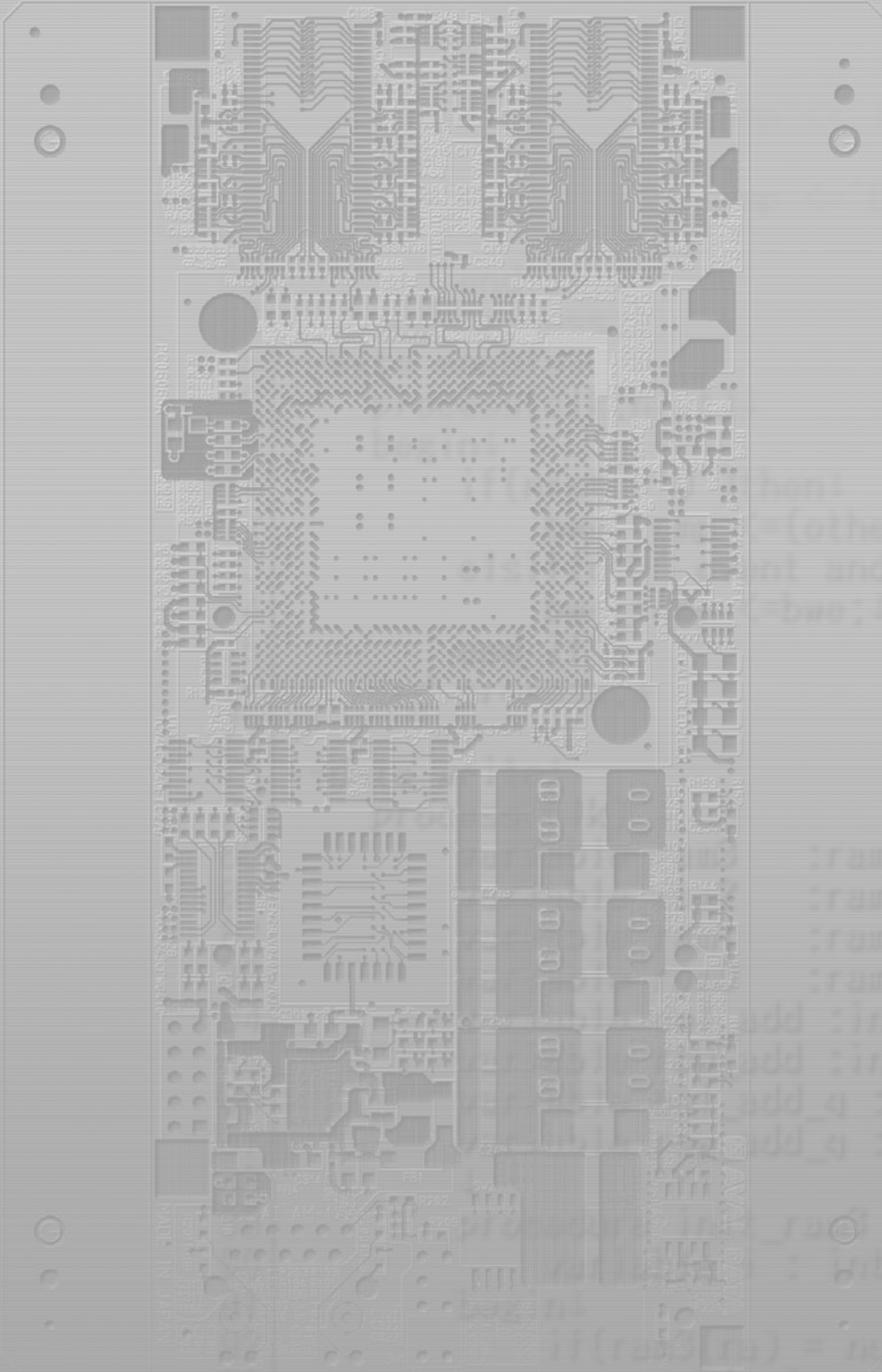


COMPANY PROFILE

DATA SHEET 2009



会社概要

■商号 株式会社アパールデータ
■資本金 23億5,409万円
■代表者 嶋村 清
■設立 1959年(昭和34年)8月
■従業員 175人

■事業内容
 制御機器、計測機器、開発機器、通信機器、医療機器、理化学機器の開発・設計・製造・販売

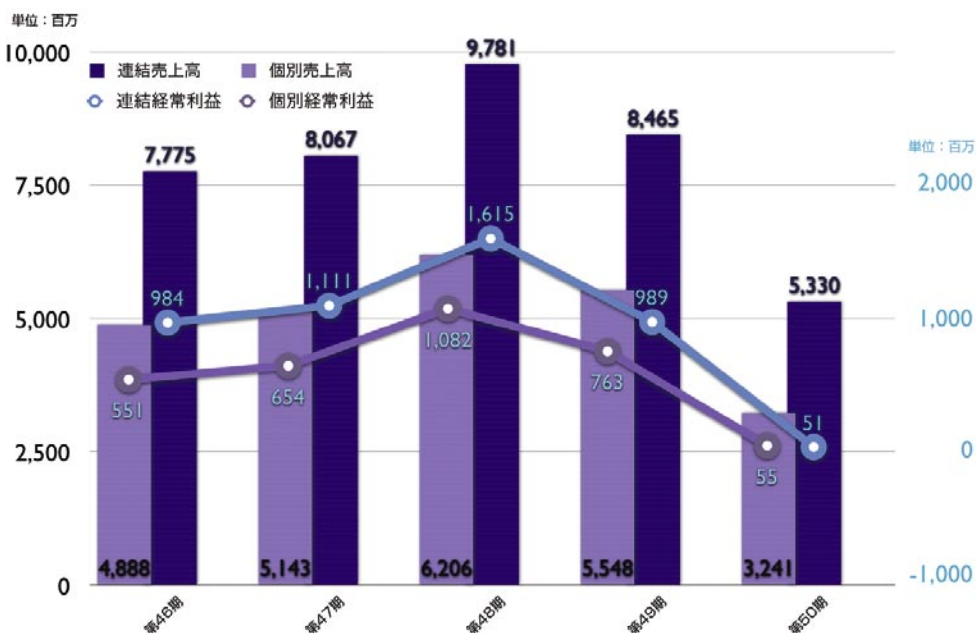
■本社および事業所
 本社・町田事業所 / 東京都町田市旭町1丁目25番10号
 厚木事業所 / 神奈川県厚木市金田1041番地
 大阪オフィス / 大阪市淀川区西中島7-1-29 SONEビル

■役員
 代表取締役社長 嶋村 清
 取締役 広光 勲
 取締役 神子芳弘
 取締役 仲山典邦
 取締役 菊地 豊
 取締役 池田達哉
 取締役 河合芳道
 常勤監査役 三国 悟
 監査役 金子健紀
 監査役 清水壽幸

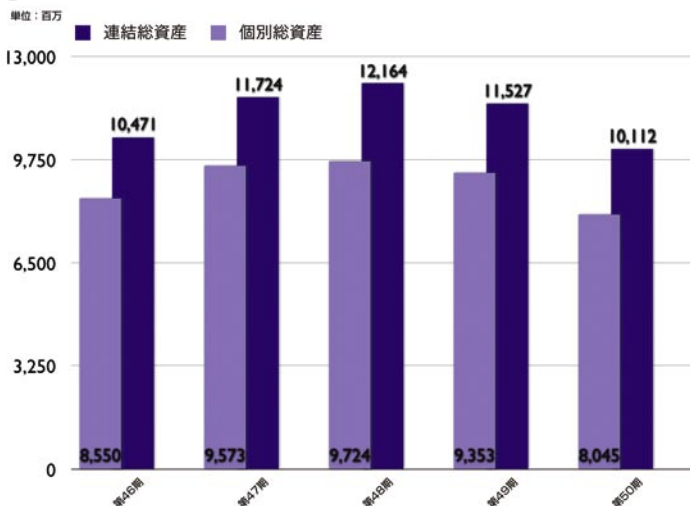
■取引銀行
 横浜銀行町田支店、三井住友銀行町田支店、三菱東京UFJ銀行本厚木支店、中央三井信託銀行横浜駅西口支店

■得意先
 旭硝子/アンリツ/荏原製作所/小野測器/オリンパス/倉敷紡績/コニカミノルタ/島津製作所/シャープ/JUKI/セイコーエプソン/大日本スクリーン製造/高岳製作所/寺崎電気産業/テラデザイン/東京エレクトロン/東京精密/東芝/トプコン/ニコン/日本電産トーソク/パナソニック/日立製作所/日立ハイテクノロジー/ファナック/富士機械製造/富士通/マランツ/三菱電機/レーザーテック(五十音順、敬称略、以上30社抜粋)

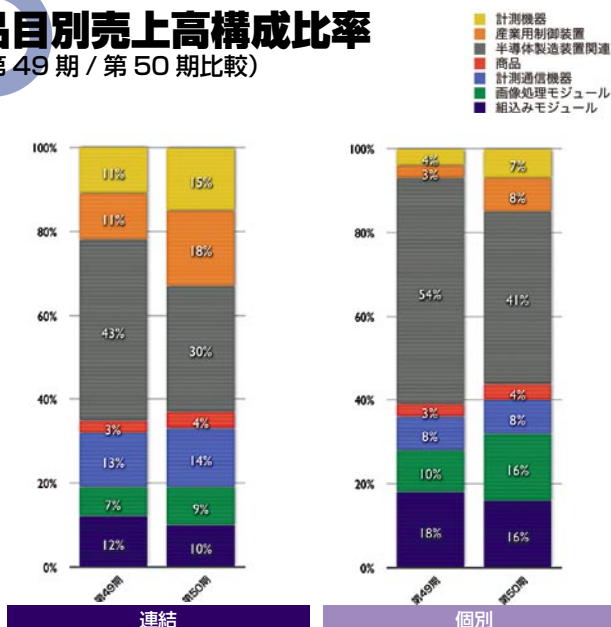
売上高 / 経常利益






総資産



品目別売上高構成比率 (第49期 / 第50期比較)



会社沿革

- 1959年 8月 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社を設立。本工場を渋谷区に設置。
- 1975年 4月 日本光学工業株式会社（現・株式会社ニコン）より、微小寸法測定器の試作を受注。株式会社ニコンとの本格的な取引開始。
- 1978年 10月 日本光学工業株式会社（現・株式会社ニコン）の製品を取り扱う業者の相互交流を目的とした日本光学協力事業協同組合に加入、協力体制を深める。
- 1979年 4月 ポータブルタイプの PROM プログラム「ベッカー 1 (PKW-5000)」を開発・発表。従来になく低価格機種としてエンジニアの高い評価を獲得。
 
- 1981年 10月 厚木市に厚木工場を開設。
- 1982年 10月 社名を「東洋通信工業株式会社」から「株式会社アパールコーポレーション」に変更。
- 1985年 2月 CPU68000 を搭載した VMEbus ボードコンピュータを開発・発売開始。リアルタイム OS「OS-9」(マイクロウェアシステムズ株式会社) をサポート開始。
 
- 9月 長崎県諫早市に長崎事業所を開設。「ベッカー」シリーズ、総生産台数 5 万台を突破。
- 11月 PROM プログラム「ベッカー 10 (PKW-1000)」とポータブルターミナル「AVAL-TM20」が通商産業省選定グッドデザイン商品に選定。
 
- 1987年 11月 長崎事業所を分離独立し、新会社「株式会社アパール長崎」を設立。
- 1988年 4月 画像処理製品開発プロジェクトを発足、産業用画像処理分野へ本格的に進出。
- 10月 「ベッカー 11」グッドデザイン商品に選定。
- 1989年 2月 社名を「株式会社アパールデータ」に変更。
- 1991年 2月 店頭銘柄として新規登録（日本証券業協会）
- 1995年 1月 品質システム ISO9001 の認証を取得。
- 1997年 4月 CompactPCI bus モジュールを初めて国産化。同製品の発売にあわせ「OS-9/PowerPC」「WindowsNT」「Tornado」等各種 OS に次々対応。
- 8月 PCIbus 対応の画像処理モジュール「APC シリーズ」を販売開始。オリジナル画像処理 LSI「AIP-6401」を開発

- 10月 CompactPCI を中心に産業用組込みシステムの促進はかる PICMG JAPAN に参加。
- 1998年 3月 Web でネットワーク監視を可能にする「NetDOC」シリーズを発表。
- 5月 本社を町田市に移転。
- 2000年 4月 CompactPCI モジュール 3U サイズをシリーズ化。
- 2001年 1月 環境マネジメント国際規格 ISO14001 の認証を取得。
- 12月 システム間のメモリ共有を可能にする「GiGA CHANNEL モジュール」をシリーズ化
- 2002年 12月 高機能画像処理 LSI「AIP-7000」を開発。
- 2003年 11月 株式会社アクセルと画像描画・伸張 LSI 応用システム製品事業のアライアンスを組むことで合意。
- 2004年 8月 「鉛フリーはんだ」を製品に採用し、環境対応化を促進。RoHS 指令対応プロジェクトを発足。
- 2005年 3月 高性能グラフィック LSI「AG902」を搭載した POP 端末のコンセプトモデル「AX-POP」を株式会社アクセルと共同開発。
- 3月 PCI Express 対応の GiGA CHANNEL「APX-740」開発。
- 11月 小型画像処理プラットフォーム「ASI-1100」を開発。同製品のシリーズ化を開始。
- 2006年 7月 環境対策の一環として新規設計製品の RoHS 指令対応を 100%実施。
- 2007年 4月 厚木事業所 1 号館完成。厚木事業所再構築が完了し、併せて生産革新運動 (Avaldata Revolution Plan) Phase2 を完結させる。
- 6月 視覚検査装置向けカメラに画像処理部を内蔵したインテリジェント・カメラ「ALI-6000」を開発。同製品のシリーズ化を開始。
 
- 11月 PCI Express バスブリッジ LSI「AAE-B04」を開発。FPGA コンパニオンチップとして自社製品への積極的な展開を、また同 LSI のシリーズ化を開始。
- 11月 東京エレクトロデバイス株式会社と販売・技術業務の提携を行うことで合意。
- 2008年 12月 100MHz の高速サンプリングに対応した PCI Express 対応の A/D 変換ボード「APX-510」を開発。同製品のシリーズ化を開始。
 

